



人生の深淵に立ちて

西村久蔵の伝道と思想

目次

装幀・カット画（題・雲）… 斎藤 尚

グラビヤ写真 巻頭 1 } 12 ページ

序……………小野村 林蔵…九

序……………植村 環…一四

序……………宮崎 豊文…一七

以上の序文中、小野村、植村両先生のものは既刊「人生の深淵に立ちて」のときのものを再録、
宮崎先生のは今回のために頂戴したものです。詳細は巻末の「あとがき」を御参照下さい。

人生の深淵に立ちて（旧版復刻）	一九
人生の深淵に立ちて	二一
恩寵を顧みて	三二
恩寵の回顧	四〇
信仰の在り方	四九
活ける神	五七
足るを知る生活	六五
愛の奉仕としての伝道	六九
教会形成の決意（感謝と奉仕）	七三
人生の真相	七九
跋	八六
森好春	

伝道

九一

流されし聖なる血潮

九三

屍を見つめて

一〇三

我が生活の反省

一一一

信仰生活の基礎事実

一一四

キリスト者とは

一二三

信仰生活の力点

一二八

ユダ、キリストを売る

一三五

十字架を仰ぎつつ

一三九

キリストの教会

一四三

信仰と生活の分離をいかにして救うか

一五三

平和問題と教会

一六〇

信仰と世界	一六六
伝道の行為	一七五
我等の教会	一八五
幼い者の祈り	一八八
現在のキリスト	一九二
教会の長老	一九五
御言の証者	二〇〇
基督者の最後	二〇五
キリスト・イエスの心	二一〇
使徒ペテロ	二一三
救主生れ給えり	二二三

講演

汝なおこの一つを欠く	二三三
吾等の進路	二四二
日本の前途と労組問題	二五七
平信徒としての意見	二七五
祖国再建の熱情	二八五
教育と宗教信仰	二九六
日本基督教会の現在と将来を語る	三〇一
随想・創作・その他	三一
日本兵の歌（童話）	三一三

覇者札商	三二三
------	-----

幼児の心	三二四
彼というもの（中学時代 - 落第）	三三一
彼というもの（中学時代 - 夜道）	三三六
彼というもの（受験生時代）	三四九
祖国を後にして	三五三
感ずるままに	三六六
あの頃（悔なき三年の月日）	三七一
私の知りあつた中華の子供たち	三七五
李少年	三八二
書翰	三八九

書翰（１）知友通信	三九〇
弔辞	四〇七
書翰（２）家人通信	・四〇九
キリスト村建設の事ども	西村歌五五三
西村久蔵略年譜	五六八
跋文	山田滋五七三
あとがき	澤村重一五七七